

四半期報告書

(第50期第3四半期)

自 平成25年10月1日

至 平成25年12月31日

ワタベウェディング株式会社

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 3
- (2) 新株予約権等の状況 3
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 3
- (4) ライツプランの内容 3
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 3
- (6) 大株主の状況 3
- (7) 議決権の状況 4

2 役員の状況 4

第4 経理の状況 5

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 6
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 8
 - 四半期連結損益計算書 8
 - 四半期連結包括利益計算書 9

2 その他 12

第二部 提出会社の保証会社等の情報 13

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年2月3日
【四半期会計期間】	第50期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	ワタベウェディング株式会社
【英訳名】	WATABE WEDDING CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 渡部 秀敏
【本店の所在の場所】	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
【電話番号】	075（352）4111（代表）
【事務連絡者氏名】	代表取締役 副社長執行役員 管理本部長 花房 伸晃
【最寄りの連絡場所】	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
【電話番号】	075（352）4111（代表）
【事務連絡者氏名】	代表取締役 副社長執行役員 管理本部長 花房 伸晃
【縦覧に供する場所】	ワタベウェディング株式会社東京グランドプラザ （東京都中央区京橋1丁目1番6号） ワタベウェディング株式会社大阪グランドプラザ （大阪市北区角田町2番15号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の東京グランドプラザ及び大阪グランドプラザは、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第3四半期連結 累計期間	第50期 第3四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (百万円)	37,612	36,299	49,295
経常利益又は経常損失 (△) (百万円)	1,263	△709	1,351
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失 (△) (百万円)	591	△656	560
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	671	△134	980
純資産額 (百万円)	15,035	14,912	15,344
総資産額 (百万円)	25,935	25,418	26,348
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額 (円)	59.69	△66.26	56.56
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	57.7	58.4	58.0

回次	第49期 第3四半期連結 会計期間	第50期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	78.35	51.69

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。第49期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、「リゾート挙式」におきましては、リゾート婚の魅力を訴求するべく、ハワイ州観光局ロマンス親善大使である吉川ひなのさんや人気カリスマ読者モデルの武智志穂さんと共同でウェディングプランやドレスをプロデュースする等、プロモーション強化に取り組んでまいりました。また平成25年10月には、バリ島ヌサドゥア地区に新チャペル「ウル シャンティ」をオープンし、さらなるマーケット拡大に取り組んでまいりました。

成長戦略であるアジアマーケットにおきましては、リゾート挙式の取扱組数が前年同四半期に比べて減少したものの、ローカル挙式の取扱組数及び婚礼単価は、中国ハルビン市の婚礼施設「ハルビン モダン アターシュ ガーデン」の営業を平成25年6月に開始したこと等により増加いたしました。

しかし、リゾート挙式全体におきましては、市場の競争激化による挙式取扱組数の減少と円安進行による為替の影響を大きく受ける結果となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、目黒雅叙園では創業85周年記念プランの販売や映画とコラボした百段階イベント等の各種催しを開催することにより、さらなる顧客の拡大に注力してまいりました。またメルパルクでは、宿泊及び宴会の営業強化や地域オリジナル商品の販売等、地域に根ざしたホテルづくりを推進してまいりました。これらにより宿泊及び宴会は堅調に推移したものの、挙式取扱組数は競争激化により前年同四半期に比べて減少いたしました。

以上の結果、当社グループの業績は、全体の挙式取扱組数が減少し、売上高36,299百万円（前年同四半期比3.5%減）、円安影響により売上原価及び販売管理費が増加した結果、営業損失639百万円（前年同四半期 営業利益1,117百万円）、経常損失709百万円（同 経常利益1,263百万円）、四半期純損失656百万円（同 四半期純利益591百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

挙式取扱組数が減少し、売上高は14,975百万円（前年同四半期比3.4%減）、広告宣伝費が増加したことと円安の影響を受けた結果、セグメント損失は942百万円（前年同四半期 セグメント利益1,097百万円）となりました。

② ホテル・国内挙式

挙式取扱組数が減少し、売上高は21,324百万円（前年同四半期比3.5%減）となりましたが、固定費削減に努めた結果、セグメント利益は301百万円（前年同四半期 セグメント損失3百万円）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数（株） （平成25年12月31日）	提出日現在発行数（株） （平成26年2月3日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,909,400	9,909,400	東京証券取引所 （市場第一部）	単元株式数 100株
計	9,909,400	9,909,400	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 （株）	発行済株式 総数残高 （株）	資本金増減額 （百万円）	資本金残高 （百万円）	資本準備金 増減額 （百万円）	資本準備金 残高 （百万円）
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	—	9,909,400	—	4,176	—	4,038

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 300	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,904,800	99,048	—
単元未満株式	普通株式 4,300	—	—
発行済株式総数	9,909,400	—	—
総株主の議決権	—	99,048	—

②【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
ワタベウエディング株式会社	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地	300	—	300	0.0
計	—	300	—	300	0.0

2【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	アジア事業推進室長	翁長 良晴	平成25年9月30日

(2) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役 社長執行役員	代表取締役社長	渡部 秀敏	平成25年9月5日
代表取締役 副社長執行役員 管理本部長	取締役 管理本部長	花房 伸晃	平成25年9月5日
取締役 執行役員 国内事業担当	取締役 国内挙式事業担当	梶 明彦	平成25年9月5日

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,407	5,970
売掛金	1,941	1,547
商品及び製品	197	285
仕掛品	38	19
原材料及び貯蔵品	541	551
その他	2,068	2,526
貸倒引当金	△30	△74
流動資産合計	11,164	10,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,178	5,013
土地	2,607	2,538
その他（純額）	1,563	1,477
有形固定資産合計	9,348	9,029
無形固定資産		
投資その他の資産	781	860
差入保証金	3,275	2,935
その他	1,807	1,797
貸倒引当金	△29	△28
投資その他の資産合計	5,053	4,703
固定資産合計	15,183	14,593
資産合計	26,348	25,418
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,009	1,852
短期借入金	900	1,500
未払法人税等	202	—
前受金	2,012	1,971
賞与引当金	446	311
その他	3,053	2,312
流動負債合計	8,625	7,947
固定負債		
長期借入金	700	700
退職給付引当金	595	709
資産除去債務	573	612
その他	509	536
固定負債合計	2,378	2,558
負債合計	11,004	10,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	8,147	7,194
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,361	15,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	38
繰延ヘッジ損益	△1	22
土地再評価差額金	△903	△903
為替換算調整勘定	△227	269
その他の包括利益累計額合計	△1,092	△571
少数株主持分	75	76
純資産合計	15,344	14,912
負債純資産合計	26,348	25,418

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	37,612	36,299
売上原価	12,340	12,640
売上総利益	25,272	23,659
販売費及び一般管理費	24,155	24,298
営業利益又は営業損失(△)	1,117	△639
営業外収益		
受取賃貸料	43	43
受取補償金	38	—
その他	126	66
営業外収益合計	208	110
営業外費用		
支払利息	13	10
支払手数料	23	22
開業費	—	96
その他	25	50
営業外費用合計	62	179
経常利益又は経常損失(△)	1,263	△709
特別損失		
固定資産除売却損	10	55
事業再編損	844	—
施設店舗整理損	53	56
特別損失合計	908	112
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	354	△822
法人税等	△228	△157
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	583	△664
少数株主損失(△)	△8	△8
四半期純利益又は四半期純損失(△)	591	△656

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	583	△664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
繰延ヘッジ損益	△2	23
為替換算調整勘定	90	501
持分法適用会社に対する持分相当額	1	4
その他の包括利益合計	88	529
四半期包括利益	671	△134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	678	△135
少数株主に係る四半期包括利益	△6	0

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	1,336百万円	1,385百万円
のれんの償却額	46	36

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	148	15	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	148	15	平成24年9月30日	平成24年12月3日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	148	15	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	148	15	平成25年9月30日	平成25年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	15,509	22,103	37,612	—	37,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,731	138	4,870	(4,870)	—
計	20,241	22,241	42,482	(4,870)	37,612
セグメント利益又は損失(△)	1,097	△3	1,094	23	1,117

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額23百万円には、セグメント間取引消去20百万円、棚卸資産等の調整額2百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	14,975	21,324	36,299	—	36,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,703	94	4,797	(4,797)	—
計	19,678	21,419	41,097	(4,797)	36,299
セグメント利益又は損失(△)	△942	301	△641	1	△639

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円には、セグメント間取引消去19百万円、棚卸資産等の調整額△18百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額 (△) 及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額 (△)	59円69銭	△66円26銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純 損失金額 (△) (百万円)	591	△656
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金 額又は四半期純損失金額 (△) (百万円)	591	△656
普通株式の期中平均株式数 (株)	9,909,076	9,909,074

(注) 前第 3 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。当第 3 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額は、1 株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額 148百万円

1 株当たりの金額 15円

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年12月 2 日

(注) 平成25年 9 月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年1月30日

ワタベウェディング株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大西 康弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩淵 貴史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているワタベウェディング株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ワタベウェディング株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。